

第35回 うつのみやこども賞だより

平成30年度 2回

市内5・6年生の選定委員さんたちが、月に4冊の本を読んで、年間で一番人気の高かった本に「うつのみやこども賞」を贈っています。

《今月選ばれた本》 『夢とき師ファナ』
小森香折／著（偕成社）



～読んだ本の感想より～

- 「夢」と死んだ人の世界までつなげる発想がおもしろい。色んなキャラの悪い考えや、願望がある話だった。
- ファナの、強い心と勇気がたくさんつまった本でした。中学年などが読んでもいいと思います。
- 黄泉の入口にむかうファナの勇気がとてもすごいと思った。
- ファナがよみの国へ行ってイソキナにあったとき、すごくドキドキしておもしろかったのと、次どうなのかなとスイスイ読めたからです。
- わたしは主人公のファナのつらいことやくるしいことがあっても、あきらめないで立ち向かうすがた

に感動しました。

- ファナのよみの国でのイソキナとのかけひきや、ファナが成長していくところがおもしろかったです。

『さよなら、ぼくらの千代商店』

中山聖子／著（岩崎書店）

- どのお話もあきずに読めて新鮮で面白かった。
- 4つの物語の中でも、嬉々のお話と美織のお話がおもしろかったです。千代商店街に行くところは不思議な感じがしました。
- ぼくも千代商店みたいな所があったら良いなと思いました。
- 千代おばあちゃんの言葉を聞くと、なやみがきえていくなきがしました。答えが見つからないなやみをもつ人に読んでもらいたい。
- なつかしい千代商店での夢のような現実のような出来事に会うところがおもしろかった。
- 千代商店でのことから、なつかしさとか、ぬくもり、やさしさに包まれていくところが印象的でよかったです。

『ぼくの同志はカグヤ姫』 芝田勝茂／著（ポプラ社）

- 宇宙人が薬をさがしに地球にきて、面白いなと思い、ゲームでつながったりして、おもしろかったです。
- 私は、かおりとタケの関係がおもしろくて感動しました。
- ぼくとカグヤ姫が、宇宙人に立ちむかう所がおもしろかった。
- カグヤ姫とタケのかけあいがとてもおもしろかったです。
- なぜせんそうをしているのか不思議に思いました。私は何にも得しないと思いました。

『ぼくらの山の学校』 八束澄子／著（PHP研究所）

- センターで楽しく過ごしている壮太や他のみんなの日々をみているようでなんだか、自分もセンターに行ってみたくなるほど、本にひきこまれていきました。
- センターでの話がたくさん書いてあって、すごくおもしろかったです。
- 「ぼく」にいばしょができてよかったと思いました。
- そう太たちの変化がよく分かった。家にも学校にも居場所がないと感じていた、という気持ちはあるかもしれない。
- 山の様子がくわしくかかれていておもしろい。

平成30年7月1日